

「社員・地域・顧客」を大切にする企業フォーラムにて 「みえの働き方改革推進企業 グッドプラクティス賞」を受賞

専用工作機械メーカーである株式会社光機械製作所（本社：三重県津市、代表取締役社長：西岡慶子、以下、光機械製作所）は、この度、三重県から「みえの働き方改革推進企業 グッドプラクティス賞」を受賞しました。

三重県では、誰もが働きやすい職場環境づくりを目的に、ワーク・ライフ・バランスの推進や働き方の見直し、次世代育成支援、女性の能力活用などに取り組んでいる企業等を募集し、その優れた取組を県内に広めることで、地域社会全体での「働き方改革」の取組を推進するために、「みえの働き方改革推進企業」の登録・表彰制度を実施しています。今年度は65法人が登録されました。

光機械製作所における「働き方改革」への主な取組や成果は、①「3G：Gender free、Generation free、Global」の人材方針に基づき、女性や外国人をはじめ多様な人材を積極的に採用し、性別や国籍に拘わらずすべての社員が公平にチャレンジできる環境づくりを進めていること、②在宅勤務や短時間勤務制度により、社員が子育てや介護等、それぞれのライフステージにあわせて活躍できる環境を整えていること、③経営、管理、開発、設計、人事、製造などの分野で女性のロールモデルが複数生まれ、活躍していること、④平成29年度から「わくわくプロジェクト」を展開し、仕事の効率性と生産性を高め、社員のワーク・ライフ・バランスの実現を目指していること、です。弊社では、こうした取組により、今後も継続的に働き方と働きがいの改革を推進していきたいと考えております。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社光機械製作所 総務グループ 内田 (059)227-5511

株式会社光機械製作所について

三重県津市を本拠とする専用工作機械メーカー。主な製品は、研削盤をはじめとする工作機械と切削工具の製造並びにレーザーによる超微細加工。特に、超硬工具加工用専用機や電解ロール研削盤では国内トップシェアの機種を持つ。創業1946年、従業員数99名（派遣、パートを含む／2019年12月末現在）。「Be professional!：プロ意識に徹する」を基本理念に、70年以上にわたり蓄積された技術とノウハウ、そしてたゆまぬ技術革新を融合させて、顧客に価値を提供できる高精度・高品質なモノ作りを目指している。2007年、経済産業省「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」に選定、その他、三重県「男女がいきいきと働いている企業 選考委員会奨励賞」（2009）、津商工会議所「優良会員企業（環境改善分野）」（2009）、厚生労働省「23年度均等・両立推進企業表彰 均等推進企業部門 三重労働局長優良賞」（2011）、日本生産性本部「エンパワーメント大賞 奨励賞」（2014）、経済産業省「ダイバーシティ経営企業100選」（2014）、APEC閣僚会議「APEC女性活躍推進企業50選」（2015）、経済産業省「はばたく中小企業小規模事業所300社」（2016）、「三重のおもてなし経営企業選」（2018）、「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」（2018）などを受賞。

ホームページは、<http://www.hikarikikai.co.jp/>